

360° 歯ブラシ、歯科大と共同研究

『歯ブラシのベンチャー、ビバテック社、360° 歯ブラシで特許取得（ワッシャー仕様）
子供用 360° 歯ブラシの商品化も予定し、大阪歯科大学小児歯科講座と共同研究開始。』

有限会社ビバテック（本社：大阪市浪速区）は、2003年、工業用ブラシの形状と研磨力に注目したアイデアにより、360° 歯ブラシを開発。健常者だけでなく、今ではユニバーサルデザイン歯ブラシとして、お年寄り、心身障害者（児）向けにも製造・販売している。この度、360° 歯ブラシの特許（特許第3646118号）も取得し、市場からの引き合いも多くなってきた。それにともなって、購入したユーザーからは「子供用の360° 歯ブラシ」がほしいという要望が多くあり、大阪歯科大学の小児歯科講座と共同研究を開始した。

当社の歯ブラシは、構造を360° 型歯ブラシにすることによって、手首を返さずに使え、テクニックがいらないため、歯磨きが苦手な子供にも扱いやすい歯ブラシであると、大阪歯科大学の小児歯科講座も注目しており、今回、共同研究をするに至った。

また、「デンタルΣ 360° 歯ブラシ」のサンプルを大阪市立天王寺動物園90周年記念（7月18日）のイベントで来園者に抽選で提供し、子供たちにもアピールしていくことも予定している。

1. 経緯

歯ブラシ市場は、100～200円程度の低価格品の購入者層と、高機能付加価値品の購入者層に二極化している。また最近、増え続けている歯周病の予防関連商品や、デンタルフロスや歯間ブラシ、舌クリーナーなどの新しいオーラルケア用品が増え、新しい市場へ参入してくる企業も多い。当社も、2003年、「デンタルΣ 360° 歯ブラシ」の商品化に成功し会社を設立。特許も取得した。

歯肉にあたると気持ちがよく、歯磨きと同時にマッサージができる歯ブラシであり、もともと歯周病予防に効果もあると、高機能付加価値商品として訴求してきた。（今では累計10万本近く販売）主に、歯科医院の他、生活雑貨の専門店や百貨店などで販売している。

しかし、やがて360° タイプのメリットとして、難しいブラッシング法の改善、また歯垢除去効果やマッサージ効果などを認める消費者が、健常者以外にも増え、徐々に「子供から介護まで」使えるユニバーサルデザイン商品となった。ところで現在、子供の歯磨き嫌い、歯磨きの難しさは、何十年たっても変わっておらず、「デンタルΣ」のユーザーからは、小さな子供でも使える「子供用360° 歯ブラシ」の商品化を要望する声が多く寄せられていた。今回、子供用360° 歯ブラシの発売（発売は今夏末頃）を予定し、大阪歯科大学小児歯科講座の協力も得られた。

2. 特長

毛の細さ極細0.07～0.13mm、毛の本数が10,000本以上（市販ブラシの約10倍）歯ブラシで、どの面からも上下左右に軽い圧力で磨くことができ、歯垢の除去と歯肉マッサージ効果が同時に行なえる歯ブラシである。さらに、360° 型にすることで、ブラッシング法が簡単になり、歯磨きの苦手な子供たちが上手に磨け、虫歯予防に寄与できることを期待している。